

II 水道事業のあゆみ

伊賀市水道事業は、昭和9年に上野地区において水道事業が創設されたのが始まりであり、世帯の増加に伴う水需要の増加等により、給水規模の拡大を進めてきました。

その後も、平成16年11月に、旧上野市、旧伊賀町、旧阿山町、旧島ヶ原村、旧大山田村、旧青山町の6市町村が合併し、引き続き整備を進めてきました。

以下に、旧市町村別の合併まで及び合併後の伊賀市水道事業のあゆみを示します。

合併前の水道事業

〈旧上野市〉

上野市の水道事業は、昭和9年に三重県で4番目に水道事業が創設、昭和11年に給水を開始したのが始まりです。以来、10余年間は創設当時の施設で市街地に給水してきましたが、戦後の急激な人口増加で給水能力が低下し、昭和24年の第1次拡張計画から水源を開発しながら順次拡張事業を実施して、安定給水のための事業推進を行ってきました。

一方、簡易水道事業は、昭和29年に鳥居出地区を皮切りに上水道の周辺地区を対象として順次、給水を開始しました。

その間、市勢の発展に合わせて、未給水地域の解消や簡易水道を順次統合するなど上水道の給水区域を拡張してきました。

〈旧伊賀町〉

伊賀町の水道事業は、昭和36年に前川地区において簡易水道として給水が開始されたのが始まりで、順次、柘植、西柘植、壬生野などの簡易水道が給水を開始しました。

昭和48年には、これらの簡易水道が統合され、伊賀町水道事業として全町に給水を開始し、その後も急激な水需要の増加に対処するため、新たに水源を確保するなどの対応をしてきました。

〈旧阿山町〉

阿山町の水道事業は、昭和41年に簡易水道が創設されたのが始まりで、順次、河合、玉滝、鞆田、丸柱地区の簡易水道が給水を開始しました。

昭和56年には、これらの簡易水道が統合され、阿山町水道事業として全町に給水を開始し、年々の水需要の増加に対処するために水源を求めてダムを建設するなど、水源の整備拡充を図ってきました。

〈旧島ヶ原村〉

島ヶ原村の水道事業は、昭和41年に簡易水道として創設され、翌42年に給水を開始しました。

その後、水需要の増加に対処するため、水源を確保するなどの事業を行ってきました。

〈旧大山田村〉

大山田村の水道事業は、昭和36年に簡易水道として創設されたのが始まりで、順次、広瀬、馬野、山田、阿波の簡易水道が給水を開始しました。

これらの簡易水道のうち主要である山田簡易水道は、昭和40年度に創設認可を受けて以来、年々の水需要の増加に対処するために浄水場施設の増築や新規水源の確保を行ってきました。

また、その他の簡易水道でも、水源状況の悪化に対応すべく、安全で安定した水道水を供給するために、改良工事などを行ってきました。

〈旧青山町〉

青山町の水道事業は、昭和29年に阿保町簡易水道が創設・給水開始されたのが始まりです。昭和46年には老川簡易水道が創設され、翌47年に給水されました。昭和50年には上津地区が阿保簡易水道の給水区域となり、阿保上津簡易水道として整備されてきました。

また、老川簡易水道は平成12年に南部簡易水道に改め、拡張事業を行ってきました。

〈旧伊賀水道用水供給事業〉

合併前の6市町村の水道事業においては、小規模水道や簡易水道が多く、老朽化施設の維持管理、小規模水源の水質悪化・不安定化が問題とされてきたことから、伊賀地域7市町村（名張市を含む）の要請により、三重県が西部広域圏広域的水道整備計画を平成10年3月に策定しました。その計画に基づき川上ダムを水源とする伊賀水道用水供給事業が平成11年1月に県企業庁により事業着手されました。

その後、平成15年度に受水予定市町村の水需要計画の見直しにより、計画規模を縮小して建設を進め、平成21年4月から伊賀市に水道用水の供給を開始しました。

合併後の水道事業

〈伊賀市〉

平成16年11月に旧上野市、旧伊賀町、旧阿山町、旧島ヶ原村、旧大山田村、旧青山町の6市町村が合併した後、平成22年4月に市内各地域の上水道事業、簡易水道事業を統合しました。また、県の伊賀水道用水供給事業の供給対象が市町村合併により6市町村から伊賀市単独となったことに伴い、水源から末端給水まで一括運営を図るために、三重県企業庁よりゆめが丘浄水場及び取水、送水施設などの有償譲渡を受け事業を継承しました。

また、合併前から旧市町村ごとに料金体系が異なっておりましたが、平成22年10月に料金改定が行われ、料金体系が統一されました。

水道事業のあゆみ

元号	旧上野市	旧伊賀町	旧阿山町
昭和 9	上野町水道事業 創設		
昭和 11	上野町水道事業 給水開始		
昭和 24	上野市水道事業第 1 次拡張変更 (小田水源池ポンプ室増設)		
昭和 26	水道事業第 2 次拡張変更 (北部配水池増設)		
昭和 29	鳥居出簡易水道事業給水開始		
昭和 32	水道事業第 3 次拡張変更 (市街地東南部) 我山・喰代簡易水道事業給水開始		
昭和 33	和田簡易水道事業給水開始		
昭和 34	蓮池簡易水道事業給水開始		
昭和 35	上友生簡易水道事業給水開始		
昭和 36	猪田簡易水道事業給水開始	前川簡易水道事業 創設・給水開始	
昭和 37	水道事業第 4 次拡張変更 (市街地西部) 下神戸簡易水道事業給水開始	柘植両町簡易水道事業給水開始	
昭和 38	上神戸簡易水道事業給水開始 岩倉簡易水道事業給水開始	西柘植簡易水道事業給水開始	
昭和 39	木根簡易水道事業給水開始		
昭和 40	西山・丸山・寺田簡易水道事業給水開始	柘植拡張簡易水道事業給水開始	
昭和 41		西柘植・愛田簡易水道事業給水開始 壬生野簡易水道事業給水開始	阿山村簡易水道事業 創設
昭和 42	北部水道給水開始		
昭和 43	上荒木・西部簡易水道事業給水開始		河合地区簡易水道事業給水開始
昭和 44	高根簡易水道事業給水開始		玉滝鞆田地区簡易水道事業給水開始
昭和 45			丸柱地区簡易水道事業給水開始
昭和 46	諏訪簡易水道事業給水開始		
昭和 47	水道事業第 5 次拡張変更 (守田浄水場建設) 高倉簡易水道事業給水開始		河合丸柱地区簡易水道第 1 次拡張変更 (阿山中学への給水)
昭和 48	比土簡易水道事業給水開始	伊賀町水道事業 創設	
昭和 49	出屋敷簡易水道事業給水開始	水道事業第 1 回変更 (工場及び住宅団地給水計画)	玉滝鞆田地区簡易水道管未給水対策事業
昭和 50			
昭和 51			
昭和 52			
昭和 53			
昭和 55	水道事業第 6 次拡張変更 (北部水道統合) 向芝簡易水道事業給水開始		
昭和 56			阿山町水道事業 創設
昭和 60			(第 1 期西米の川ダム建設及び丸柱浄水場建設)
昭和 61			水道事業第 1 回変更 (第 2 期玉滝浄水場建設)
昭和 62	水道事業第 7 次拡張変更 (ゆめが丘給水及び未給水地域の解消) 古郡簡易水道事業給水開始		
平成元		水道事業第 2 回変更 (水源新設)	
平成 7	第 2 西部簡易水道事業給水開始		
平成 8			
平成 10			
平成 11			
平成 12	水道事業第 8 次拡張変更 (県水受水計画及び未給水地域の解消) 比自岐・高山簡易水道事業給水開始		
平成 15			
平成 16	水道事業第 1 回変更 (小田水源池急速ろ過機新設)	水道事業第 3 回変更 (県水受水計画)	水道事業第 1 次拡張変更 (県水受水計画)
平成 16 年 11 月から伊賀市水道事業 (3 上水道、11 簡易水道、1 専用水道)			
平成 17			
平成 18			
平成 20	比土・出屋敷、我山、古郡簡易水道を統合		
平成 21	第 2 西部簡易水道を統合		
平成 22	平成 22 年 4 月から伊賀市水道事業として一元化 (伊賀水道用水供給事業を統合)		

合併

水道事業のあゆみ

旧島ヶ原村	旧大山田村	旧青山町	元号
			昭和 9
			昭和 11
			昭和 24
			昭和 26
		阿保町簡易水道事業 創設・給水開始	昭和 29
			昭和 32
			昭和 33
			昭和 34
			昭和 35
	大山田村簡易水道事業 創設		昭和 36
			昭和 37
	広瀬簡易水道事業 創設		昭和 38
	馬野簡易水道事業 創設		昭和 39
	広瀬簡易水道事業給水開始 山田簡易水道事業 創設		昭和 40
島ヶ原村簡易水道事業 創設	馬野簡易水道事業給水開始		昭和 41
簡易水道事業給水開始 (第1浄水場建設)	山田簡易水道事業給水開始 阿波簡易水道事業 創設		昭和 42
	阿波簡易水道事業給水開始		昭和 43
		阿保簡易水道事業第1次拡張変更(水源新設)	昭和 44
			昭和 45
		老川簡易水道事業 創設	昭和 46
		老川簡易水道事業給水開始	昭和 47
簡易水道事業第1回変更 (第2浄水場建設)	山田簡易水道第1次拡張 (浄水場建設)	阿保簡易水道事業第2次浄水変更 (急速ろ過設備新設)	昭和 48
			昭和 49
		阿保上津簡易水道事業第3次拡張変更 (別府、下川原、北山)	昭和 50
	広瀬簡易水道第1次拡張(浄水場建設)	老川簡易水道事業第1次拡張変更 (急速ろ過設備新設)	昭和 51
	馬野簡易水道第1次拡張(浄水場建設)		昭和 52
			昭和 53
	阿波簡易水道第1次拡張 (高良城浄水場建設)	阿保上津簡易水道事業第4次拡張変更 (寺脇、岡田、柏尾)	昭和 55
			昭和 56
簡易水道事業第2回変更(第1浄水場増設)			昭和 60
			昭和 61
			昭和 62
		阿保上津簡易水道事業第5次拡張変更 (伊勢路、羽根、工業団地)	平成元
			平成 7
簡易水道事業第3回変更(中矢浄水場建設)			平成 8
	山田簡易水道第2次拡張変更(馬野水源建設)		平成 10
		阿保上津簡易水道事業第6次拡張変更 (水源新設、滝、妙楽地、勝地、奥鹿野)	平成 11
		阿保上津簡易水道事業第1回変更 (滝水源浄水方法変更)	平成 12
		南部簡易水道事業第2次拡張変更 (老川簡易水道から名称変更、水源、浄水場新設、 区域拡張)	平成 15
簡易水道事業第4回変更 (県水受水計画)	阿波簡易水道第2次拡張(膜ろ過設備新設)		平成 16
	山田簡易水道事業第1回変更(県水受水計画)		
	馬野簡易水道第2次拡張(膜ろ過設備新設)		
伊賀市	平成16年11月から伊賀市水道事業(3上水道、11簡易水道、1専用水道)		
		南部簡易水道事業第1回変更(古田)	平成 17
		南部簡易水道事業第2回変更(南部清掃工場)	平成 18
			平成 20
			平成 21
			平成 22
	平成22年4月から伊賀市水道事業として一元化(伊賀水道用水供給事業を統合)		